

平成 28 年 12 月 13 日

## 四間道界限まち歩き

12月11日（日）「那古野、円頓寺、四間道界限まち歩き」があり参加しました。  
この行事は那古野一丁目まちづくり研究会が主催するもので、12月、1月、2月、3月の4  
回行われ、清州越から近年まで名古屋の物流を支えてきた堀川や堀川界限の歴史的建造物を  
まち歩きをしながら探索します。

案内人は考える会の「環境観て歩き」でお世話になっている柳田哲雄さんです。

今回は第1回目で、円頓寺商店街の入り口に約20名の方が集合しました。

まち歩きのスタートは「朝日橋」。福島正則が開削をした堀川の当時の最北端の場所です。

「堀川堀留跡の碑」を見ながら当時の堀川を偲びました。ここから堀川に沿って下り、瀬戸  
方面から運ばれた陶磁器が堀川で船に乗せ替えられた「瀬戸電・堀川駅跡」、戸を作る職人  
が軒を連ねた「皆戸町通り」から、堀川七橋のひとつ中橋を渡り浅間神社着。屋根神様、子  
守地蔵尊を見て、県指定文化財に指定されている川伊藤家を廻り今回は解散となりました。  
柳田さんのわかりやすい、ユーモアに満ちた案内であつという間の1時間半でした。

次回も参加しようと思っています。

